

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 教育実践研究奨励事業
-------------------	-------------------------

区分	番号	名 称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり
小分類	3	教育環境の充実
主要な施策	4	教員の資質の向上
事務事業番号	002	事務事業コード 52234002 事業開始年度 昭和 4 5 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	教育実践研究奨励経費
------	------	------------	------------

部 名	教育部	グループ名	学校教育 G
-----	-----	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #ffff00;">(事務事業の実施目的を具体的に記載してください)</p> 実践奨励校での教育実践研究を実施し、その成果を市内・小中学校で共有することにより、市全体の教育レベルの向上を図る。
手段 (事業の内容・活動)	<p style="background-color: #ffff00;">(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください)</p> 実践奨励校ごとに研究主題を定め、その成果を公開研究会で発表するとともに、研究紀要を作成した。実践奨励校は原則として2か年とし、登別市教育委員会が指定する。 【実践奨励校における事業内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・指定を受けた学校は、学校独自又は近隣校と共同で組織的、計画的に研究を行う。 ・研究の領域・分野は、学習指導、道徳教育、教育課程など17分野。 平成 2 2 年度実践奨励校 <ul style="list-style-type: none"> ・新規：幌別西小学校、幌別東小学校、鷺別小学校、若草小学校、登別小学校、登別中学校 ・継続：幌別小学校、富岸小学校、幌別中学校、鷺別中学校
成果	<p style="background-color: #ffff00;">(事務事業の実施成果を具体的に記載してください)</p> 研究結果の発表会など結果の共有化を行い、教職員の資質向上と学校教育の充実を図ることが、市全体の教育レベルの向上につながり、心豊かでたくましい登別の子どもの育成が推進される。
根拠法令等	<p style="background-color: #ffff00;">(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください)</p> 登別市教育実践研究奨励校実施要項

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	実践研究奨励校数	校	目標値	9	9	9	9	9
			実績値	10	/	/	/	/
			目標値					
			実績値		/	/	/	/

事業費の推移

区 分			単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	508	557	557	557	557	1,671
合 計				508	557	557	557	557	1,671
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	66	68			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		66	68			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 実践奨励校の指定を受けることで、教職員の研究に対する意識が高まり、教育の充実を図ることができるため、市が本事業を行うことは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 各学校ごとに、特色を活かした研究を行っている。これまでに北海道教育実践表彰を受賞した学校もあり、学校の教育レベルは向上している。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 研究結果の発表会など、結果の共有化を図り、市内小中学校全体の教育レベルの向上を図る。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 既に必要最低限の予算付けとなっており、これ以上の削減は事業の効果を損なう恐れがある。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	教職員の資質向上と学校教育の充実を図るうえで重要な事業である。
-----------	----------------------	---------------------------------

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力で推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）